

# 第10回北海道空手道選手権大会

## ～型試合要綱～

### 【試合形式】

1. 帯別によるトーナメント形式（3名の場合はリーグ戦）。
2. クラス分け及び指定、選択型は下表のとおり。
3. 各クラスともに指定、選択型を二人同時に行う。ただし、本戦での型で違う型を行う場合は白の選手から演じる。
4. 判定は3～5名の審判の旗判定で半数以上の旗が上がった選手の勝ちとする。
5. 予選引き分け延長の場合、他の型を行うこともある（行う型は主審裁量）。
6. 本戦引き分け延長の場合、他の型を行うこともある（行う型は自己申告）。
7. 延長は1回までとし、再延長は行わない。
8. 2名及び3名での出場の場合、初戦より選択型を行います。
9. クラス別の帯は申込み時点の帯とし、昇級により帯色が変わった場合は旧帯での出場とする。

	予 選	本戦（準決勝・3位戦・決勝戦）
白・ルンジ 帯	太極Ⅲ	太極Ⅲ・平安Ⅰ
青 帯	平安Ⅱ	平安Ⅱ・突きの型
黄 帯	平安Ⅲ	平安Ⅲ・突きの型・最破
緑 帯	平安Ⅳ	平安Ⅲ・平安Ⅳ・最破・撃砕大
茶 帯	平安Ⅴ	平安Ⅳ・平安Ⅴ・撃砕大・撃砕小・十八・征遠鎮

### 【演武方法】

1. 白、赤の選手は試合場開始線前にて、正面、主審、お互いに礼をする。
2. 左右に分かれ主審が型の名を言った後「用意」「始め」の合図で開始し、「直れ」「休め」で自然体に戻る。
3. 選択型の場合の演武型が違う場合、一方の選手は試合場 場外で正座をして待つ。
4. 試合後開始戦に戻り旗判定を行う。
5. 判定後は正面、主審、お互いに礼をして退場する。

### 【判定基準】

1. 正確さ  
拳動の順序、技・気合の脱落がないかを判定する。
2. 気迫及び力の強弱  
組手に必要な気力、気迫、力強さが見られるか。
3. 技の緩急  
型を行う上で動作一つ一つに減り張りがあるか。
4. 呼吸の調整  
拳動を行うことで呼吸に乱れはないか。
5. 表現力  
組手を型で表現するに当たり技の意味を理解し、演じることが出来ているか。